ArcGIS

# Geodatabase in PostgreSQL

## セットアップ ガイド

esri ジャパン

# 目次

**はじめに** ..... 1

セットアップの概要 ..... 2

**DBMS のセットアップ** ..... 3

PostgreSQL のインストール ..... 3

**エンタープライズ ジオデータベースの作成** ..... 17

PostgreSQL エンタープライズ ジオデータベースの作成 ..... 17

**動作確認（ユーザーの作成およびデータ格納）** ..... 21

PostgreSQL エンタープライズ ジオデータベースへの接続 ..... 21

PostgreSQL ユーザー (ログイン・ロール) の作成 ..... 22

データの格納 ..... 24

**インストール済みの環境のアップグレード** ..... 27

**ArcGIS クライアントのアップグレード** ..... 27

PostgreSQL エンタープライズ ジオデータベースのアップグレード ..... 27

ST_Geometry ライブラリのアップグレード ..... 31

**FAQ** ..... 32

エンタープライズ ジオデータベースの作成に必要な製品（ライセンス）は何ですか？ ..... 32

ArcGIS GIS Server Basic で使用可能な機能はなんですか？ ..... 32

ArcGIS Pro で作成 / アップグレードされたエンタープライズ ジオデータベースと対応する ArcGIS クライアントのバージョンは何ですか？ ..... 32

エンタープライズ ジオデータベースの作成に失敗します。 ..... 33

**参考資料** ..... 34

# はじめに

本ガイドでは、PostgreSQL のエンタープライズ ジオデータベースをセットアップする手順を解説します。

> ⚠ 本ガイドは、DBMS サーバーへ PostgreSQL をセットアップし、クライアントの ArcGIS Pro からエンタープライズ ジオデータベースを使用するための作業を分かりやすく示すことを目的としています。そのため、最低限の手順・設定のみを記載しており、運用環境におけるセットアップを前提としておりません。運用環境を構築する際には ArcGIS ヘルプの「PostgreSQL のジオデータベース」の章を参照して下さい。また、ESRI ジャパンでは使用する DBMS 自体のサポートは行っておりませんので、使用する DBMS の各種ドキュメントをご参照頂き作業を行って下さい。

本ガイドで解説されている環境は以下の通りです。

| | |
|---|---|
| オペレーティング システム (DBMS サーバー) | Windows Server 2022 Standard (64-bit) |
| オペレーティング システム (ArcGIS クライアント) | Windows 10 Pro (64-bit) |
| DBMS | PostgreSQL 14 (64 bit) |
| ArcGIS クライアント | ArcGIS Pro 3.1 Standard |

※最新のエンタープライズ ジオデータベースの動作環境については下記を参照してください。

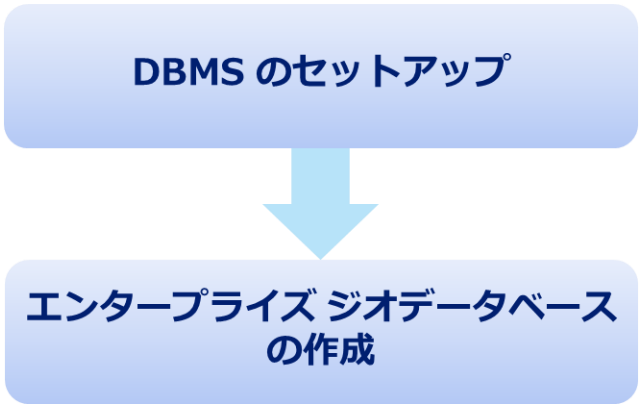
- ArcGIS Enterprise 動作環境ページ：データベース / ジオデータベース
  https://www.esrij.com/products/arcgis-enterprise/environments/

※PostgreSQL の st_geometry.dll の使用には、Microsoft Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2015、2017、2019、2022 がインストールされている必要があります。このパッケージが DBMS サーバー上に存在しない場合は、Microsoft のサイトからダウンロードしてインストールしてください。
https://www.visualstudio.com/ja/downloads/?q=#other-ja

※ArcGIS Pro の基本的な操作方法は、ArcGIS Pro のドキュメントをご参照ください。
※Linux 版 PostgreSQL のジオデータベースをセットアップされる方は、以下のヘルプページを参照してください。
http://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/geodatabases/manage-postgresql/setup-geodatabase-postgresql-linux.htm

# セットアップの概要

エンタープライズ ジオデータベースのセットアップは、まず DBMS のセットアップを行い、その後 DBMS にエンタープライズ ジオデータベースを作成して完了します。本ガイドでは、ArcGIS Pro を使用してエンタープライズ ジオデータベースを作成します。ArcGIS Pro をアップデートすることで既知の問題の修正やパフォーマンスの向上が行われますので、ソフトウェアをアップデートし、最新の状態にしておくことをお勧めします。




1. DBMS のセットアップ
2. エンタープライズ ジオデータベースの作成

   ArcGIS Pro の [エンタープライズ ジオデータベースの作成] ジオプロセシング ツールを使用して、エンタープライズ ジオデータベースを作成します。

# DBMS のセットアップ

以下では PostgreSQL のセットアップ手順を説明します。手順は DBMS サーバー上で行います。

## PostgreSQL のインストール

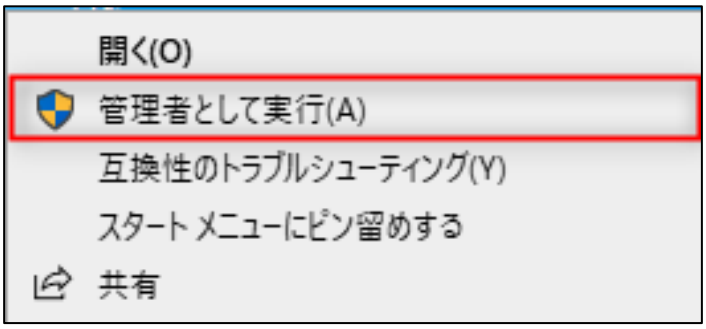
PostgreSQL のエンタープライズ ジオデータベースを作成する前に、DBMS サーバーに PostgreSQL ソフトウェアがインストールされている必要があります。PostgreSQL を別途インストールする場合、またはインストール済みの PostgreSQL を使用する場合は「エンタープライズ ジオデータベースの作成」からお読みください。

PostgreSQL のインストーラーは My Esri よりダウンロードして下さい。

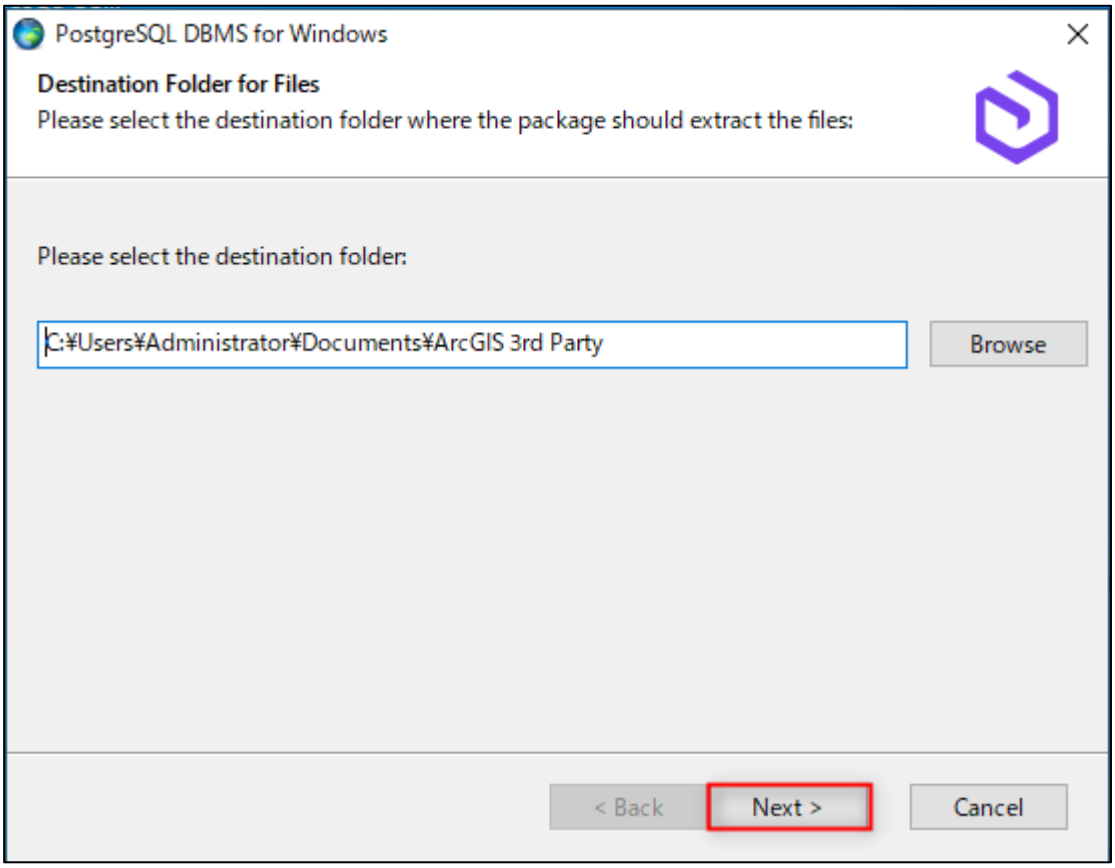
- My Esri

  https://my.esri.com/#/

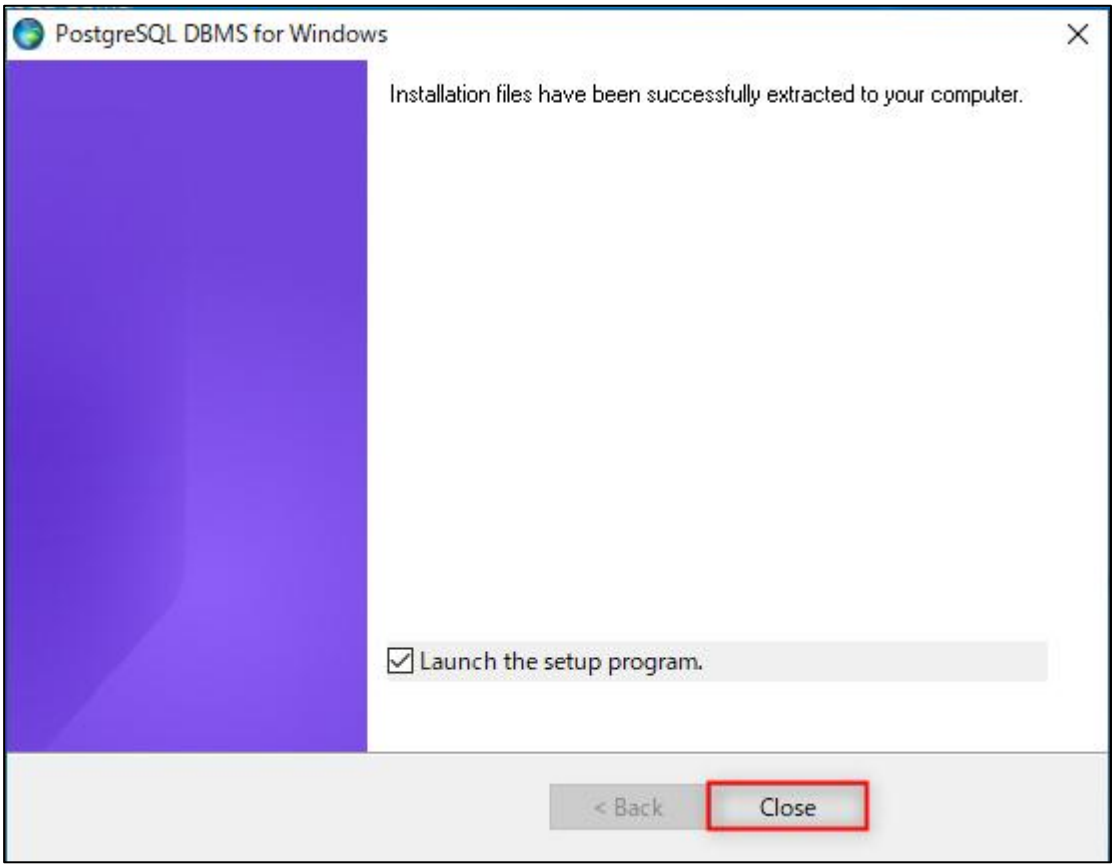
  1. My Esri のダウンロードページから 「PostgreSQL_DBMS_for_Windows_<PostgreSQL のバージョン>_<リリース番号>.exe」をローカル ディスク上の任意のフォルダーにダウンロードし、右クリックして [管理者として実行] をクリックします。ここでは、PostgreSQL 14.6 を使用します。



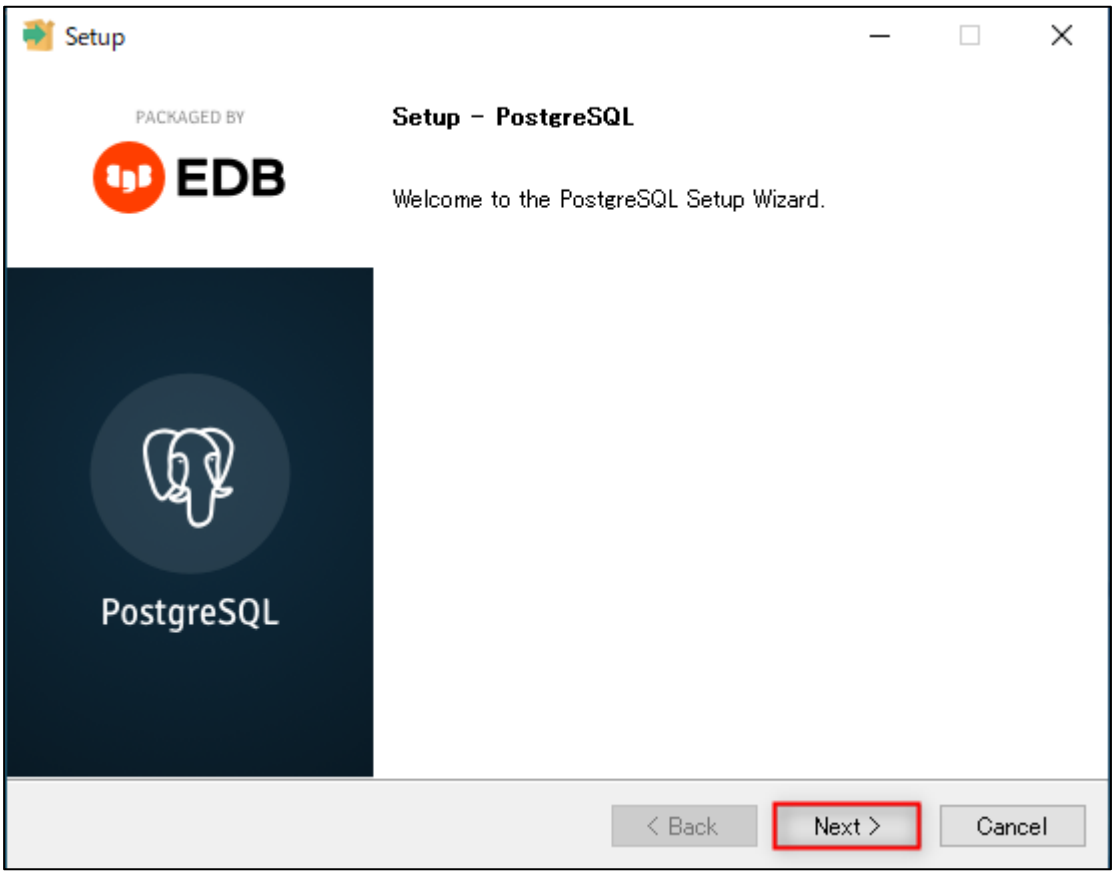
2. インストーラーを配置するディレクトリを指定します。以下ではデフォルトのディレクトリにインストーラーを配置します。[Next >] をクリックします。



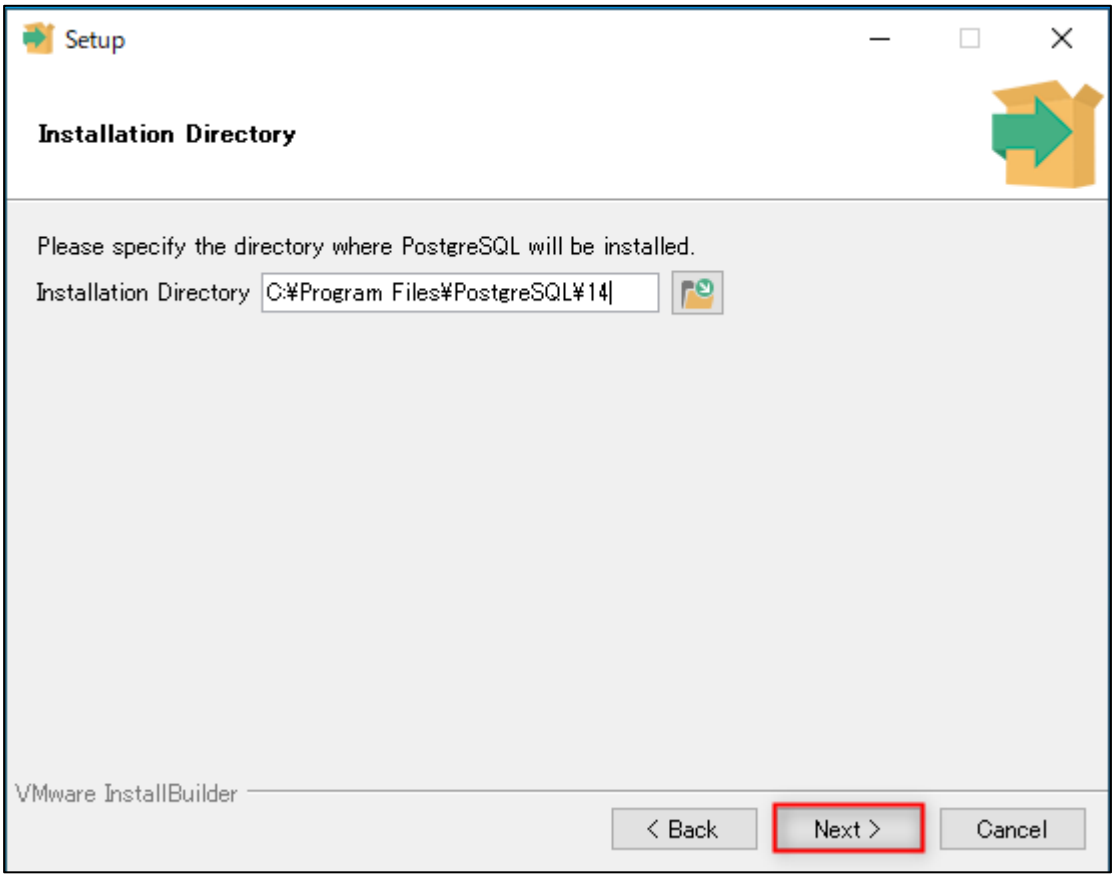
3. [Launch the setup program] にチェックが入っていることを確認して、[Close] をクリックします。



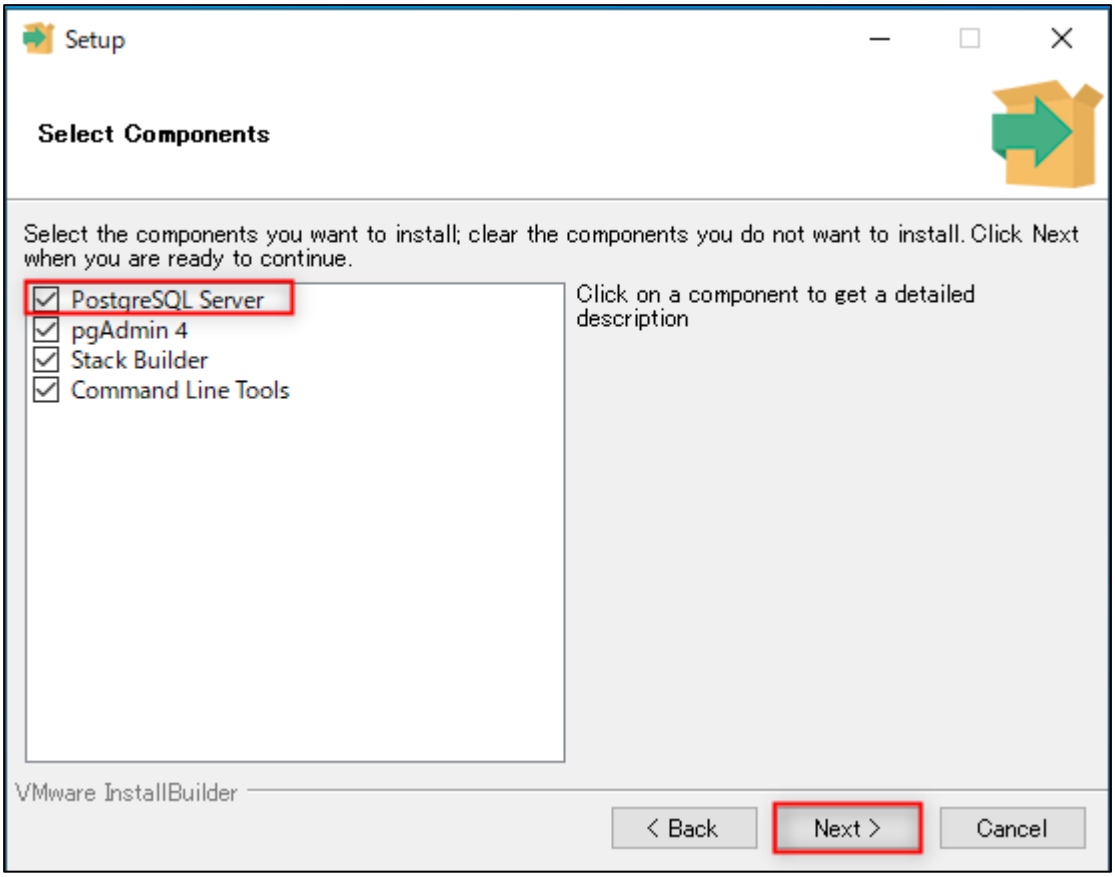
4. PostgreSQL のセットアップ プログラムが起動します。[Next >] をクリックし、インストールを開始します。



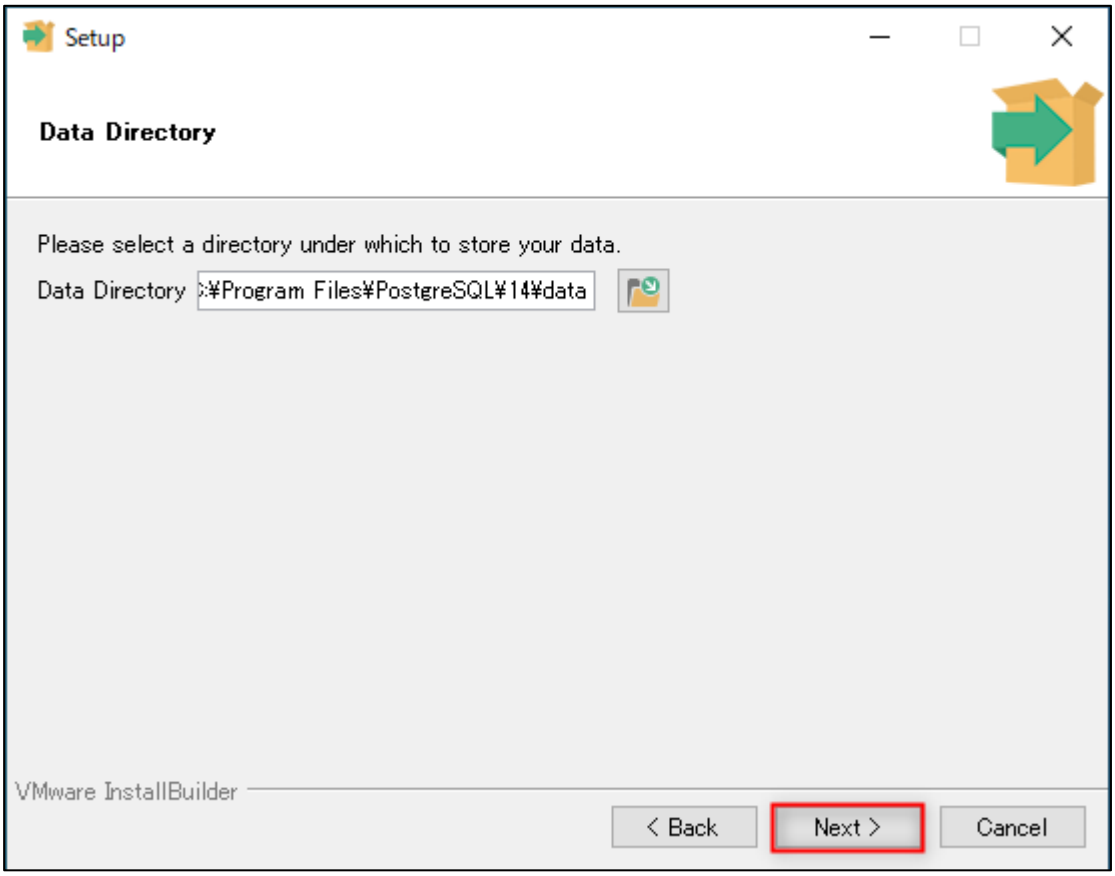
5. [Installation Directory] 画面が表示されます。ここでは PostgreSQL のソフトウェアをインストールする場所を選択します。標準では Program Files ディレクトリ下にインストールされます。変更する場合は [Installation Directory] テキスト ボックスにパスを入力するか、フォルダー アイコンをクリックしてパスを選択します。ディレクトリを確認し、[Next >] をクリックします。



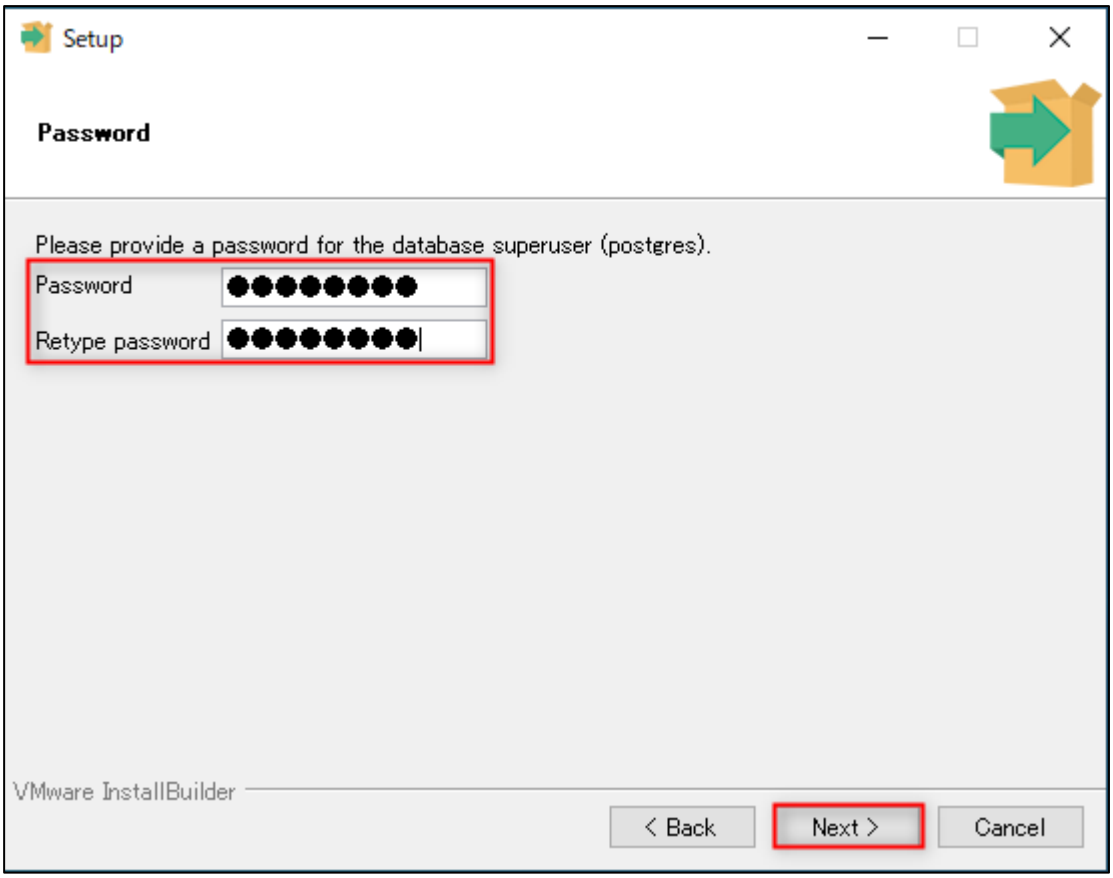
6. [Select Components] 画面が表示されます。ここではインストールする PostgreSQL のコンポーネントを選択します。[PostgreSQL Server] にチェックが入っていることを確認し、[Next >] をクリックします。[pgAdmin 4] や [Command Line Tools] は PostgreSQL Server の管理や操作の他、接続等の問題発生時の原因切り分け等で役に立ちます。[Stack Builder] は、PostGIS のジオメトリやジオグラフィを使用する際に必要になります。本ドキュメントでは、これらのコンポーネントは使用しませんが、必要に応じて有効化してください。



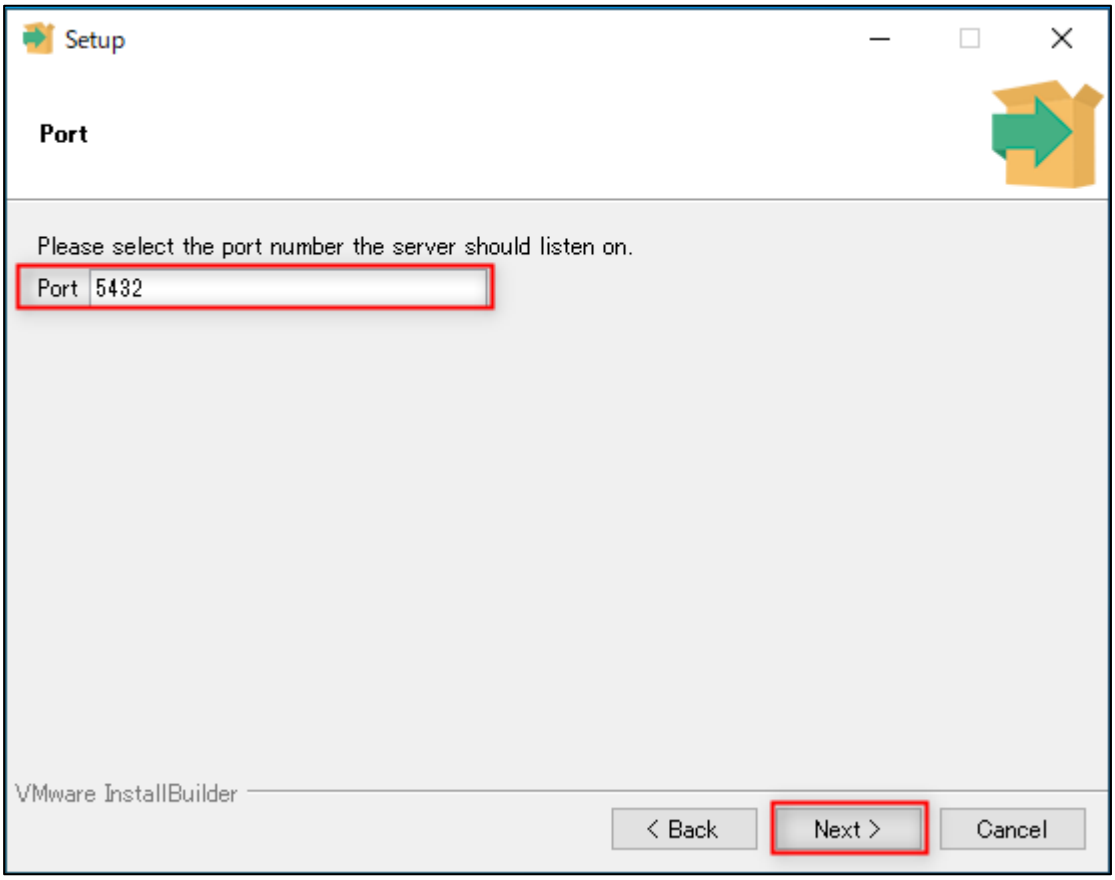
7. [Data Directory] 画面が表示されます。データ ディレクトリには PostgreSQL データベース クラスターの設定ファイルやデータベースが格納されます。デフォルトでは PostgreSQL ソフトウェアをインストールしたディレクトリ下に「data」ディレクトリとして作成されます。変更する場合は [Data Directory] テキスト ボックスにパスを入力するか、フォルダー アイコンをクリックしてパスを選択します。ディレクトリを確認し、[Next >] をクリックします。



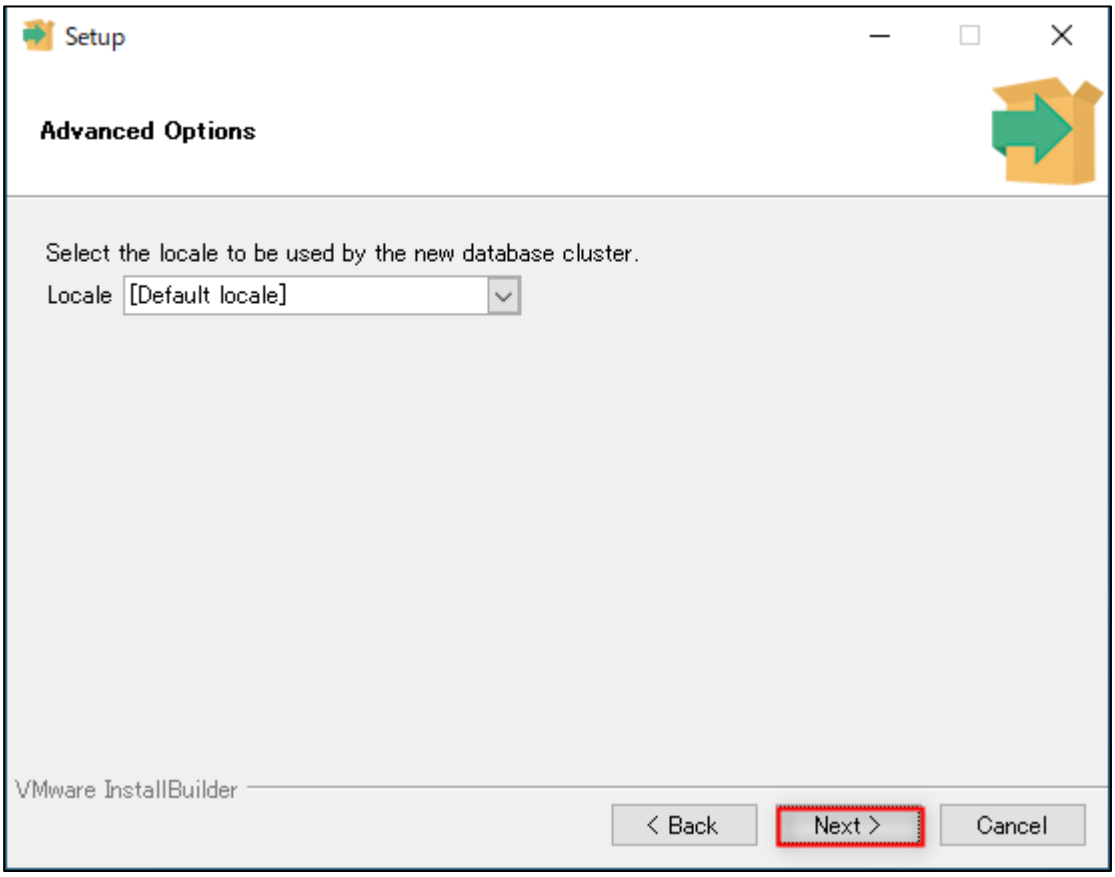
8. [Password] 画面が表示されます。ここではデータベースのスーパー ユーザーおよびサービス アカウントである postgres ユーザーのパスワードを入力します。パスワードを入力し [Next >] をクリックします。



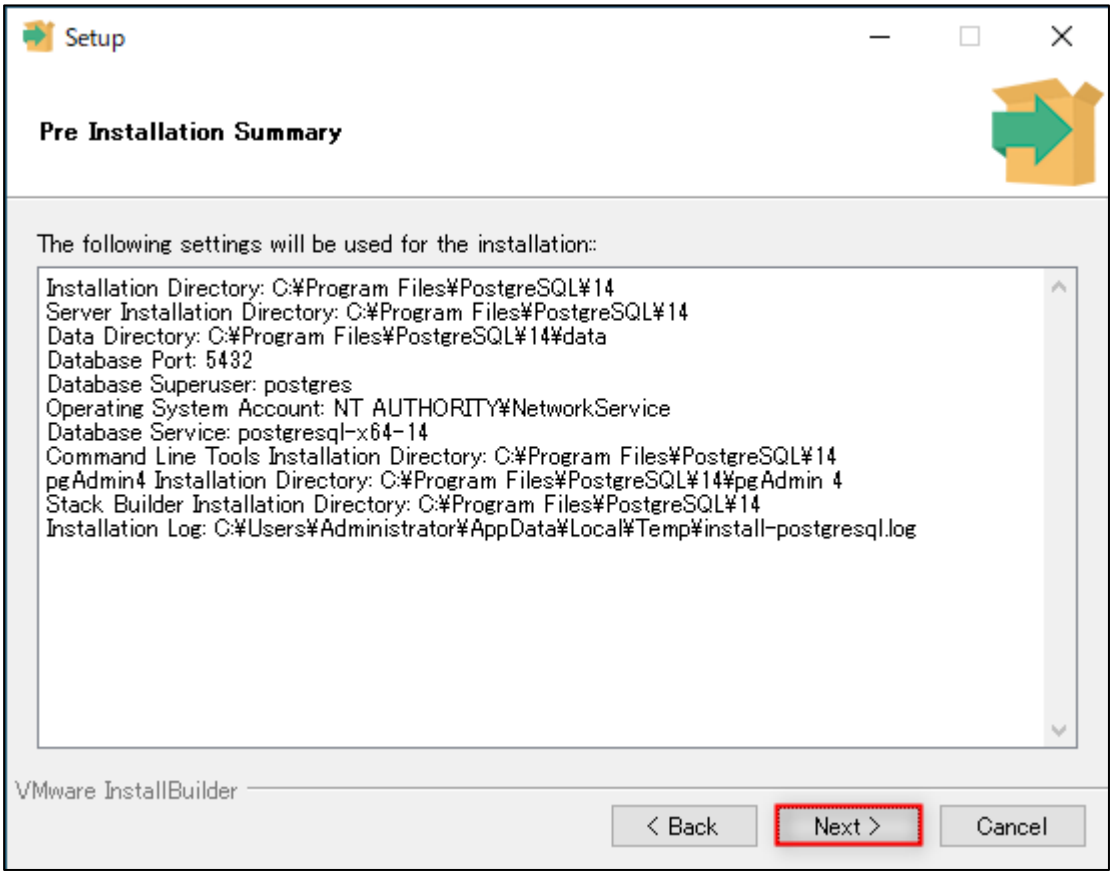
9. [Port] 画面が表示されます。データベースが接続要求をリスニングするポート番号を指定します。内容を確認し [Next >] をクリックします。



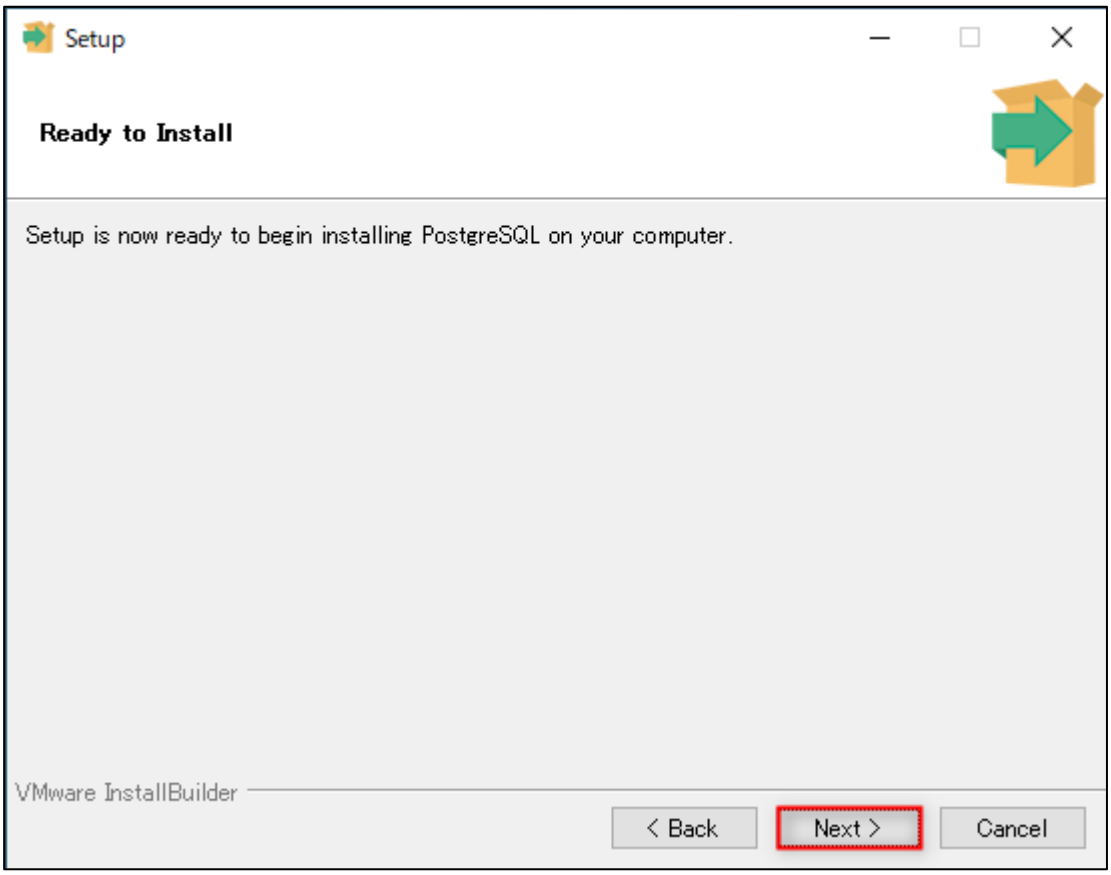
10. [Advanced Options] 画面が表示されます。ここではデータベース クラスターのロケールを選択します。[Default locale] ではシステムに現在設定されているロケールが引き継がれます。PostgreSQL 上でエンタープライズ ジオデータベースを作成する場合は、デフォルトの設定のままで問題ありませんので [Next >] をクリックします。



11. [Pre Installation Summary] 画面が表示されます。[Next >] をクリックします。



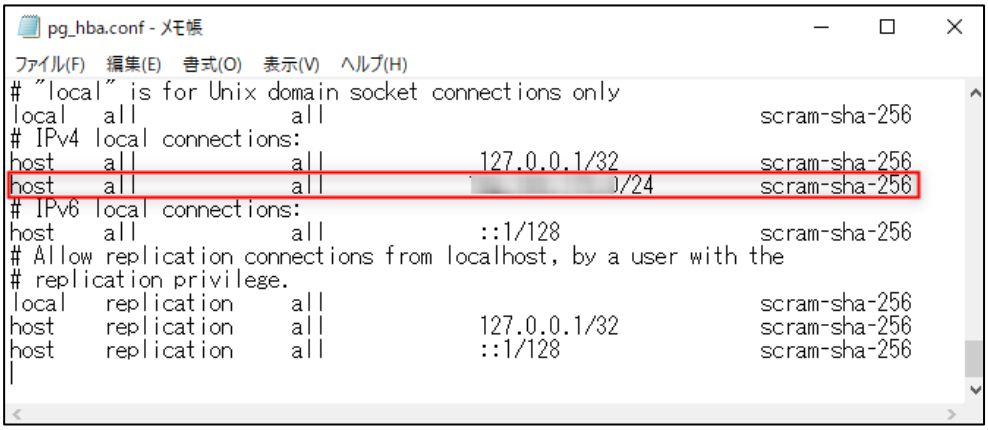
12. [Ready to Install] 画面が表示されます。[Next >] をクリックして PostgreSQL のインストールを開始します。



13. インストールが正常に完了すると [Completing the PostgreSQL Setup Wizard] 画面が表示されます。スタック ビルダーを起動するかどうか確認するチェックボックスがチェックされていますが、PostgreSQL をエンタープライズ ジオデータベースのみで使用する場合、データベース以外に追加のツールは必要ありませんので、このチェックを外してから [Finish] をクリックしてセットアップを終了します。



14. デフォルトで PostgreSQL はローカル接続のみ許可されていますので、DBMS サーバーとは異なるマシン (クライアント マシン) の ArcGIS Pro から接続するには PostgreSQL のデータ ディレクトリにある「pg_hba.conf」ファイルを編集し、リモート接続が行えるように設定を追加します。




15. 設定を反映させるには、ファイルを保存した後で PostgreSQL のサービスを再起動します。なお Windows Firewall を有効にしている場合、手順 9 で指定したポート番号での接続を許可するよう設定します。

# エンタープライズ ジオデータベースの作成

ArcGIS Pro を使用して、PostgreSQL にエンタープライズ ジオデータベースを作成する手順を説明します。

## PostgreSQL エンタープライズ ジオデータベースの作成

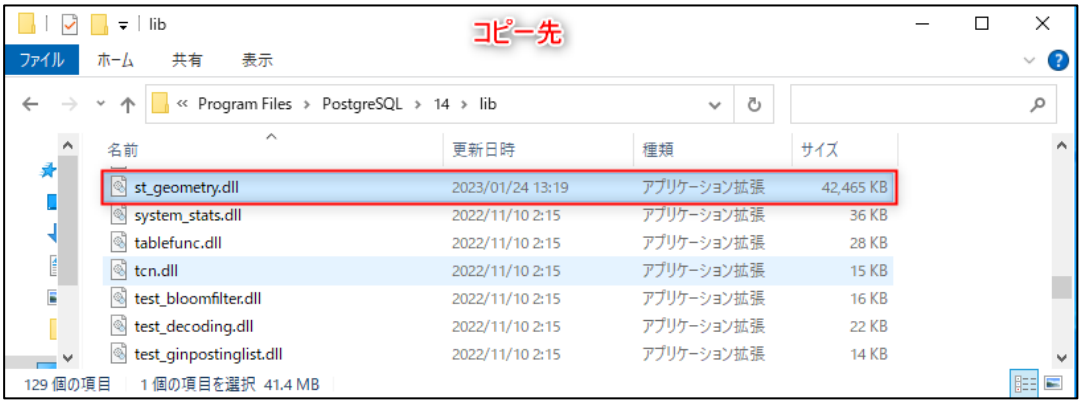
PostgreSQL にエンタープライズ ジオデータベースを作成するためには、 ST_Geometry ライブラリを配置する必要があります。ST_Geometry ライブラリは、My Esri より DBMS サーバーにダウンロードしてください。

- My Esri

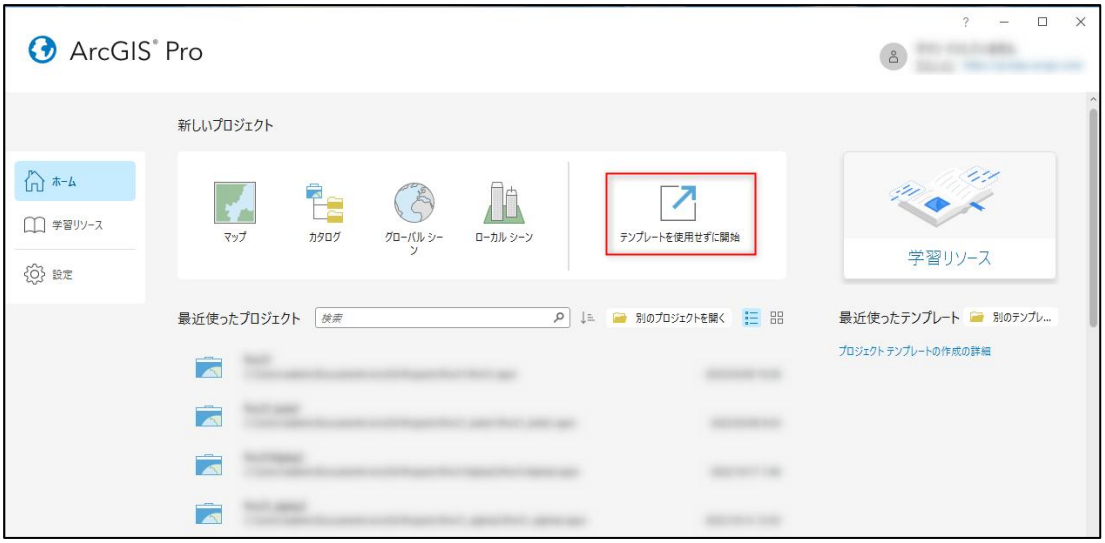
  https://my.esri.com/#/

  1. DBMS サーバーでダウンロードしたファイルを解凍し、「< ArcGIS Pro バージョン > _ST_Geometry_PostgreSQL_<リリース番号>¥PostgreSQL¥<PostgreSQL バージョン >¥Windows64 ¥」フォルダーにある「st_geometry.dll」を PostgreSQL をインストールした DBMS サーバーの PostgreSQL の lib フォルダー（ここでは [C:¥Program Files¥PostgreSQL¥14¥lib]）にコピーします。

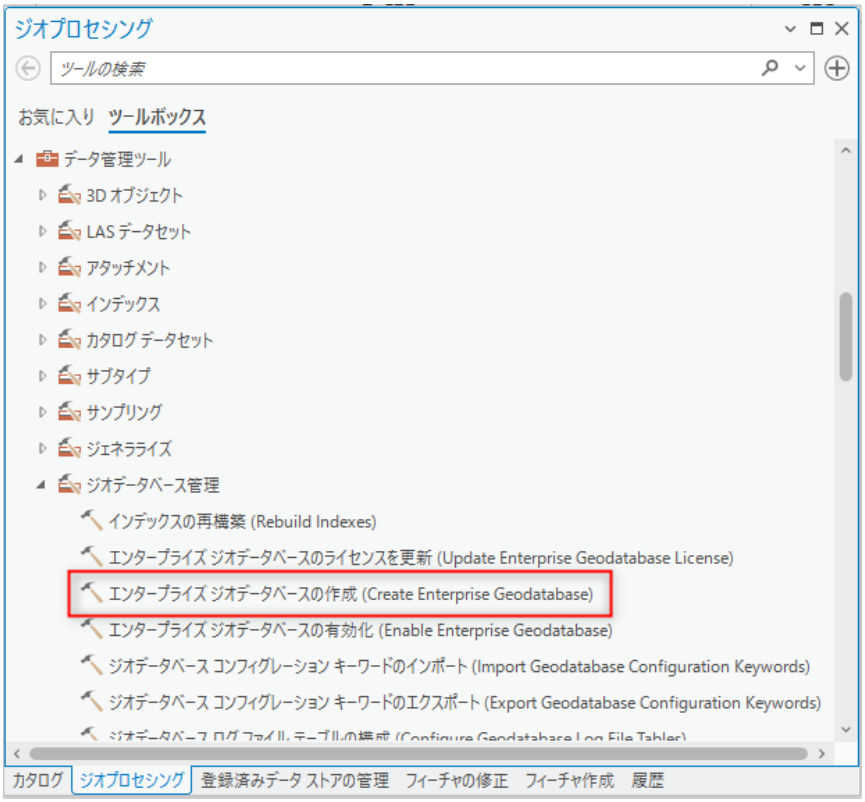


2. クライアント マシンで Windows の [スタート] メニュー → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックし、ArcGIS Pro を起動し、任意のプロジェクトを開くか、[テンプレートを使用せずに開始（後で保存できます）] をクリックします。




3. [解析] タブの [ツール] をクリックし、[ジオプロセシング] ウィンドウを表示します。[ツールボックス] タブ → [データ管理ツール] → [ジオデータベース管理] → [エンタープライズ ジオデータベースの作成 (Create Enterprise Geodatabase)] をクリックします。



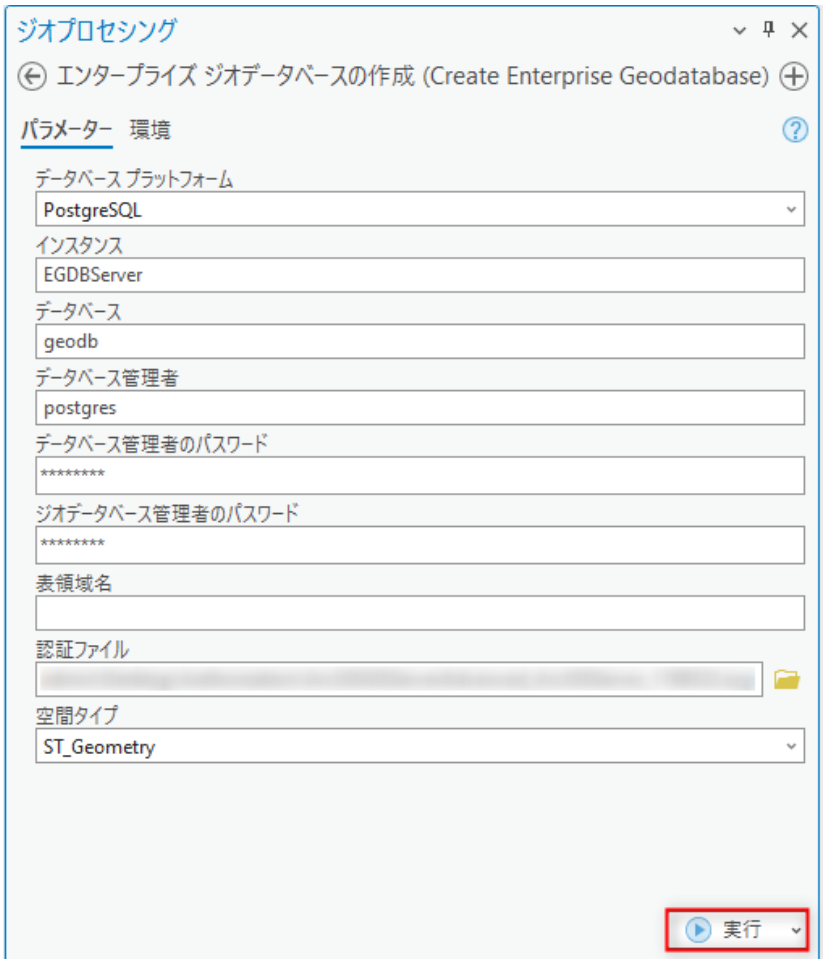
4. [エンタープライズ ジオデータベースの作成(Create Enterprise Geodatabase)] ジオプロセシング ツールが起動します。[データベース プラットフォーム] で [PostgreSQL] を選択し、[インスタンス] に PostgreSQL をインストールした DBMS サーバーのホスト名（または IP アドレス）を入力します。[データベース] にジオデータベースとして作成するデータベース名を入力します。（ここでは「geodb」という名前で作成します。）[データベース管理者]（オプション）に「postgres」を指定し、管理者権限を持つ postgres ユーザーのパスワードを入力します。

   [ジオデータベース管理者のパスワード]（オプション）にジオデータベース管理者ユーザーとして新規に作成される sde ユーザーのパスワードを入力します。既にジオデータベース用に表領域を用意している場合は [表領域名]（オプション）に表領域の名前を入力します。[認証ファイル] のフォルダー アイコンをクリックし、ArcGIS GIS Server の認証ファイルを選択します。[実行] をクリックします。

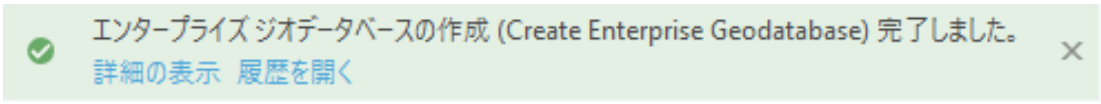
   ※認証ファイルは、ArcGIS Enterprise または、ArcGIS GIS Server が既にセットアップ済みの場合は、「%ProgramFiles%¥ESRI¥License11.0¥sysgen」フォルダーの keycodes ファイルを指定します。

   ※ArcGIS Enterprise または、ArcGIS GIS Server をセットアップしない場合は、以下のドキュメントを参考に認証ファイルを取得してください。

   https://support.esrij.com/knowledge/24388




5. エンタープライズ ジオデータベースが正常に作成された場合は [エンタープライズ ジオデータベース (Create Enterprise Geodatabase) 完了しました。] が表示されます。



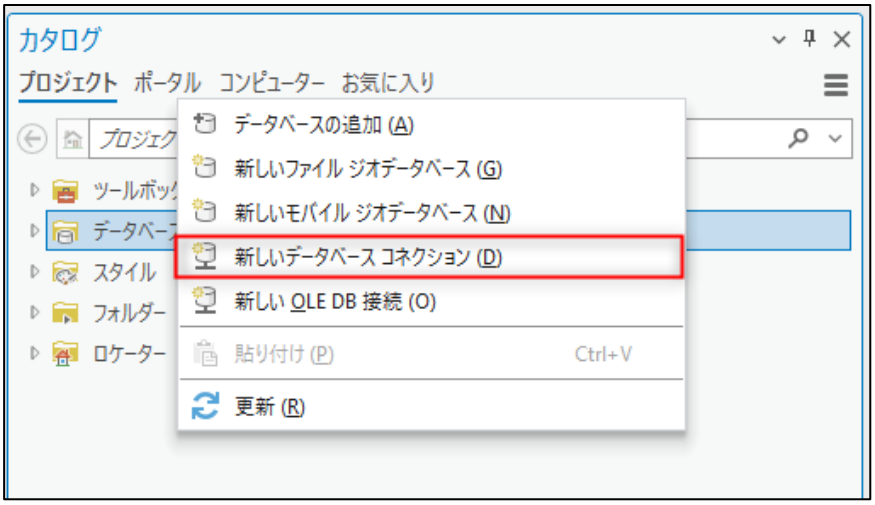
# 動作確認 (ユーザーの作成およびデータ格納)

PostgreSQL に作成されたエンタープライズ ジオデータベースの動作確認を行うため、データベースにユーザーを作成し、データをインポートする手順を示します。

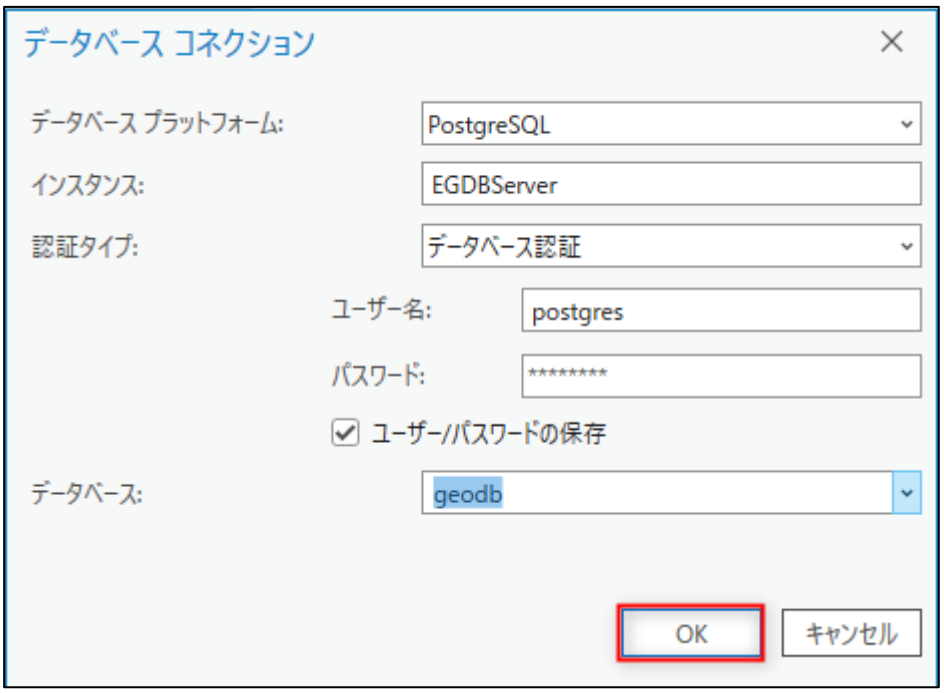
> ⚠ この手順は必ずしも行う必要はありません。またこの手順で作成されるユーザーの用途は動作確認のみを意図しています。実運用のためのユーザーを作成する際には必ず PostgreSQL および ArcGIS のドキュメントを参照して、適切なデータの配置や権限設定等を行う必要があります。

## PostgreSQL エンタープライズ ジオデータベースへの接続

1. クライアントマシンで Windows の [スタート] メニュー → [すべてのアプリ] → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックし、ArcGIS Pro を起動し、任意のプロジェクトを開くか、[テンプレートを使用せずに開始（後で保存できます）] をクリックします。
2. [カタログ] ウィンドウの [プロジェクト] → [データベース] を右クリックし、[新しいデータベース コネクション] を選択します。



3. [データベース コネクション] ダイアログボックスが表示されます。
   [データベース プラットフォーム] に「PostgreSQL」を選択し、[インスタンス] に PostgreSQL のインストールを行った DBMS サーバーのホスト名（または IP アドレス）を入力します。[認証タイプ] に「データベース認証」を選択します。[ユーザー名] に postgres を入力し、[パスワード] に postgres ユーザーのパスワードを入力します。[OK] をクリックします。正しい接続情報が設定されている場合 [データベース] リストボックスに使用可能なデータベースがリスト表示されます。ここでは、これまでの手順で作成した「geodb」を選択し [OK] をクリックします。

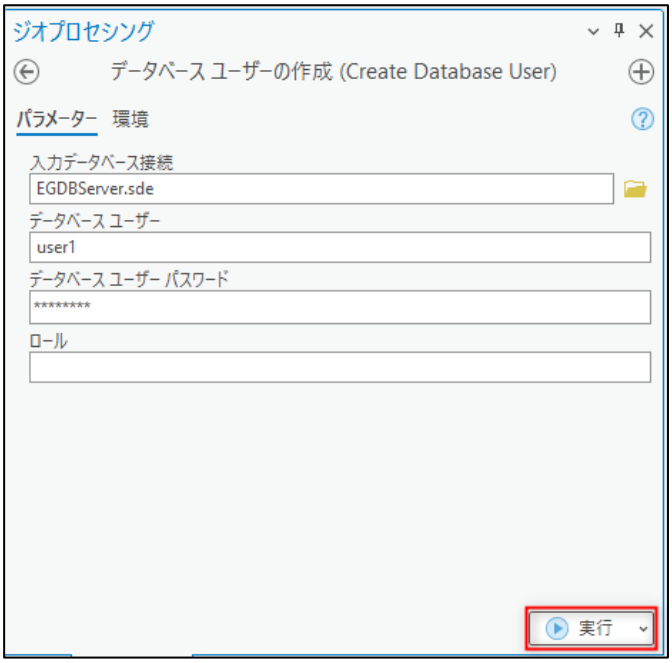



   [データベース] 下にデータベース コネクションが作成されていれば接続完了です。
4. 次のユーザーの作成を行わない場合は、プロジェクトを保存し、ArcGIS Pro を終了します。

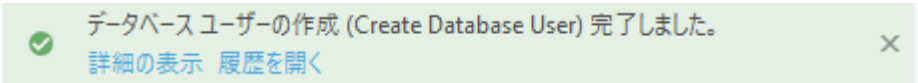
## PostgreSQL ユーザー（ログイン・ロール）の作成

[エンタープライズ ジオデータベースの作成] ジオプロセシング ツールの実行によりエンタープライズ ジオデータベースの管理ユーザー (SDE ユーザー) が作成されますが、SDE ユーザー以外に 1 人以上の GIS データを扱う PostgreSQL ユーザーを作成することが推奨されます。
エンタープライズ ジオデータベースにデータを格納するため PostgreSQL データベース クラスターにユーザーを作成する手順を示します。

1. クライアント マシンで ArcGIS Pro が起動していない場合は、Windows の [スタート] メニュー → [すべてのアプリ] → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックして ArcGIS Pro を起動します。前の手順で管理者ユーザーとして接続する際に使用したプロジェクトを開きます。
2. [解析] タブの [ツール] をクリックし、[ジオプロセシング] ウィンドウを表示します。[ツールボックス] タブ → [データ管理ツール] → [ジオデータベース管理] → [データベース ユーザーの作成 (Create Database User]] をクリックします。
3. [データベース ユーザーの作成 (Create Database User)] ジオプロセシング ツールが起動します。[入力データベース接続] にデータベース管理者のデータベース コネクション（本ガイドでは EGDBServer.sde）を指定し、[データベース ユーザー] に作成するユーザー名、[データベース ユーザー パスワード]（オプション）に作成するユーザーのパスワードを入力します。以下では、user1 ユーザーを作成するよう設定しています。また、[ロール] はここでは設定しません。[実行] をクリックします。




4. ツールが実行され、ユーザーが作成されます。




5. 次の手順に進まない場合は、プロジェクトを保存して、ArcGIS Pro を終了します。

# データの格納

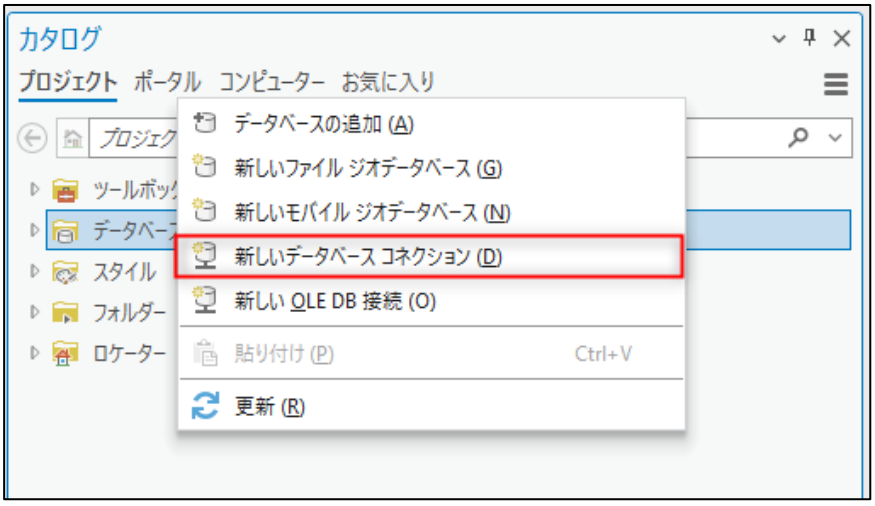
以下では上記で作成したユーザーを使用して エンタープライズ ジオデータベースに接続し、シェープファイルをインポートする手順を説明します。

この手順では ESRI ジャパンが無償で配布している全国市区町村界データをインポートします。以下のリンクよりデータをダウンロードできます。

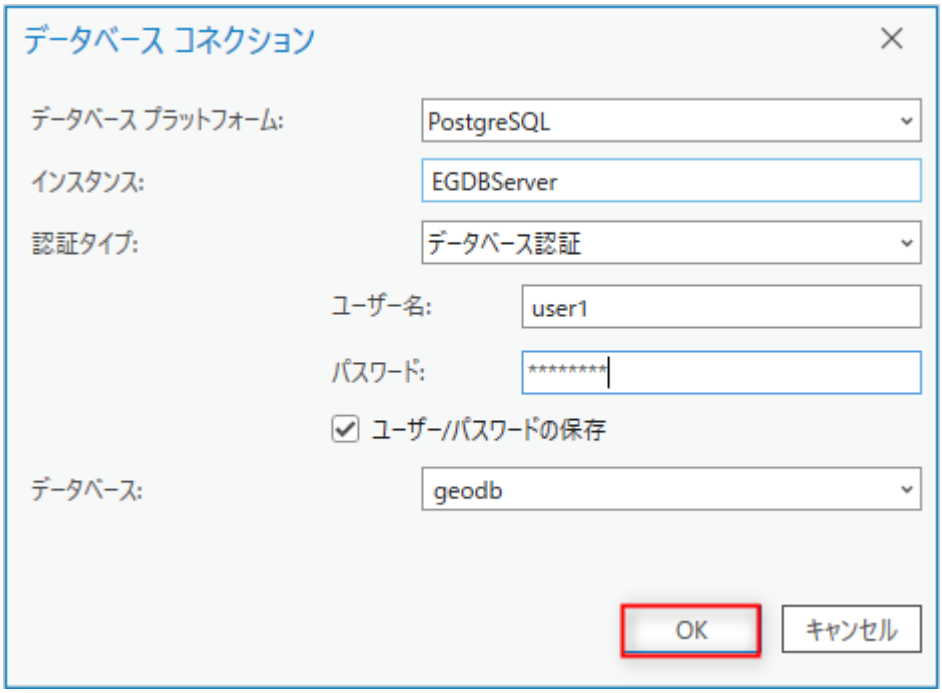
ダウンロードページより、japan_ver84.zip をダウンロードして任意のディレクトリに解凍してください。

- ESRI ジャパン：全国市区町村界データ
  https://www.esrij.com/products/data/japan-shp/

1. クライアント マシンで ArcGIS Pro が起動していない場合は、Windows の [スタート] メニュー → [すべてのアプリ] → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックし、ArcGIS Pro を起動し、任意のプロジェクトを開くか、[テンプレートを使用せずに開始（後で保存できます）] をクリックします。
2. [カタログ] ウィンドウの [プロジェクト] → [データベース] を右クリックし、[新しいデータベース コネクション] をクリックします。



3. [データベース コネクション] ダイアログ ボックスが表示されます。
[データベース プラットフォーム] に「PostgreSQL」を選択し、[インスタンス] に PostgreSQL のインストールを行った DBMS サーバーのホスト名 (または IP アドレス) を入力します。
[認証タイプ] に「データベース認証」を選択します。[ユーザー名] に user1 を入力し、[パスワード] に user1 ユーザーのパスワードを指定します。[データベース] のドロップダウン リストから接続先のデータベースを選択して [OK] をクリックします。

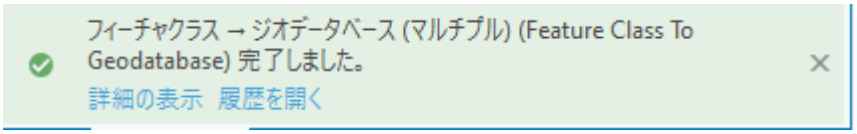



4. 作成された接続ファイルを右クリックして、 [インポート] → [複数のフィーチャクラス] をクリックします。

5. [フィーチャクラス → ジオデータベース (マルチプル) (Feature Class To Geodatabase)] ジオプロセシング ツールが起動します。[入力フィーチャ] にインポートするシェープファイルのパス名を指定して [実行] をクリックします。




バックグラウンドでインポート処理が実行されます。処理が完了するとデスクトップ画面の右下に下記のように処理が正常終了したことを通知するメッセージが表示されます。




※インポート実行開始時に、データベース ユーザー名が接続先データベースのユーザー スキーマと一致しない旨のエラーが表示される場合があります。この場合は PostgreSQL の pgAdmin 4 を開いて、当該ジオデータベースの持つスキーマに、データベース ユーザー名に一致するものがあるか確認し、適切なデータベース ユーザー名を使用して対処します。

6. 作成したフィーチャクラスを表示し、データが正しく参照できることを確認します。以上で動作確認作業は終了です。

# インストール済みの環境のアップグレード

インストール済みの PostgreSQL のジオデータベースをアップグレードする方法を説明します。

- ArcGIS クライアントのアップグレード
- エンタープライズ ジオデータベースのアップグレード
- ST_Geometry ライブラリのアップグレード

## ArcGIS クライアントのアップグレード

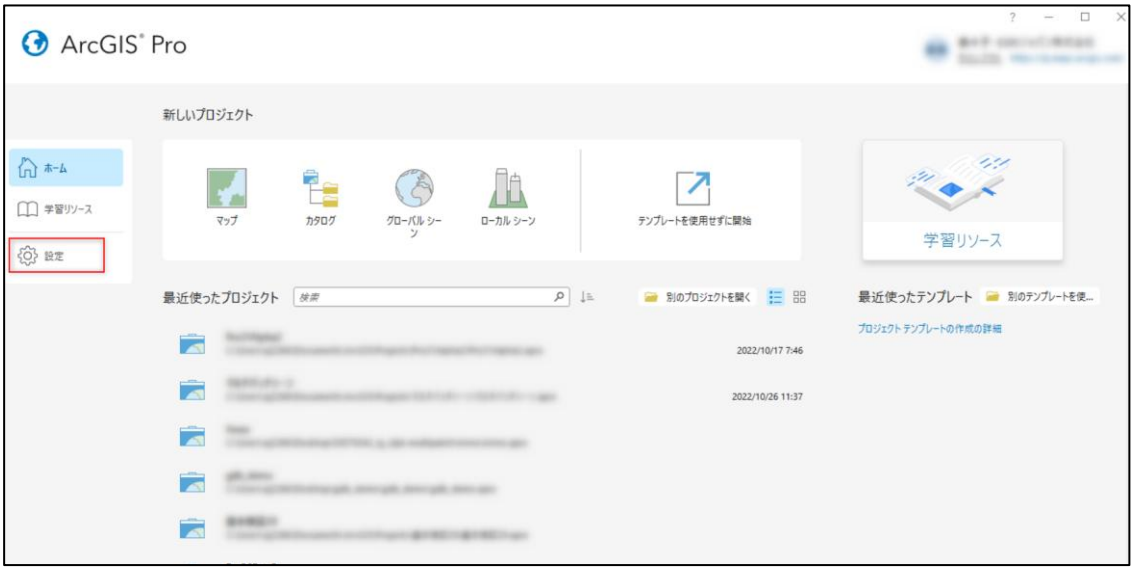
エンタープライズ ジオデータベースをアップグレードするには、まず、エンタープライズ ジオデータベースに接続する ArcGIS クライアントをアップグレードし、その後エンタープライズ ジオデータベースをアップグレードします。

## PostgreSQL エンタープライズ ジオデータベースのアップグレード

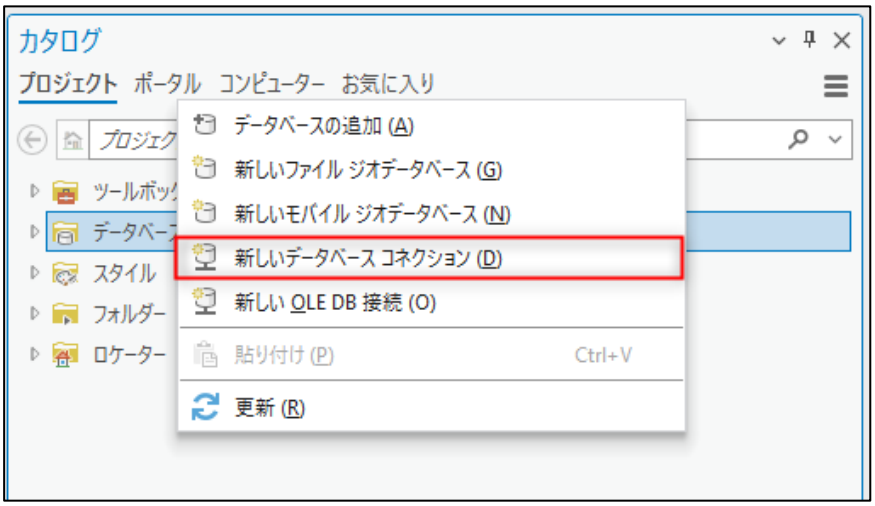
ArcGIS Pro と同様にジオデータベースにもバージョンが存在します。ジオデータベースは ArcGIS Pro をアップグレードしただけでは、最新バージョンに含まれるジオデータベースに関する不具合の修正などが反映されず、最新の状態にはならないため、ArcGIS Pro のアップグレード後に、(必要に応じて) エンタープライズ ジオデータベースのアップグレードを行ってジオデータベースを最新の状態にします。
以下では、ArcGIS Pro を使用してエンタープライズ ジオデータベースをアップグレードする手順を説明します。**なお、エンタープライズ ジオデータベースのアップグレードを行う前にデータベースのバックアップを取得してください。**

1. クライアントマシンで Windows の [スタート] メニュー → [すべてのアプリ] → [ArcGIS] → [ArcGIS Pro] アプリをクリックし、ArcGIS Pro を起動します。

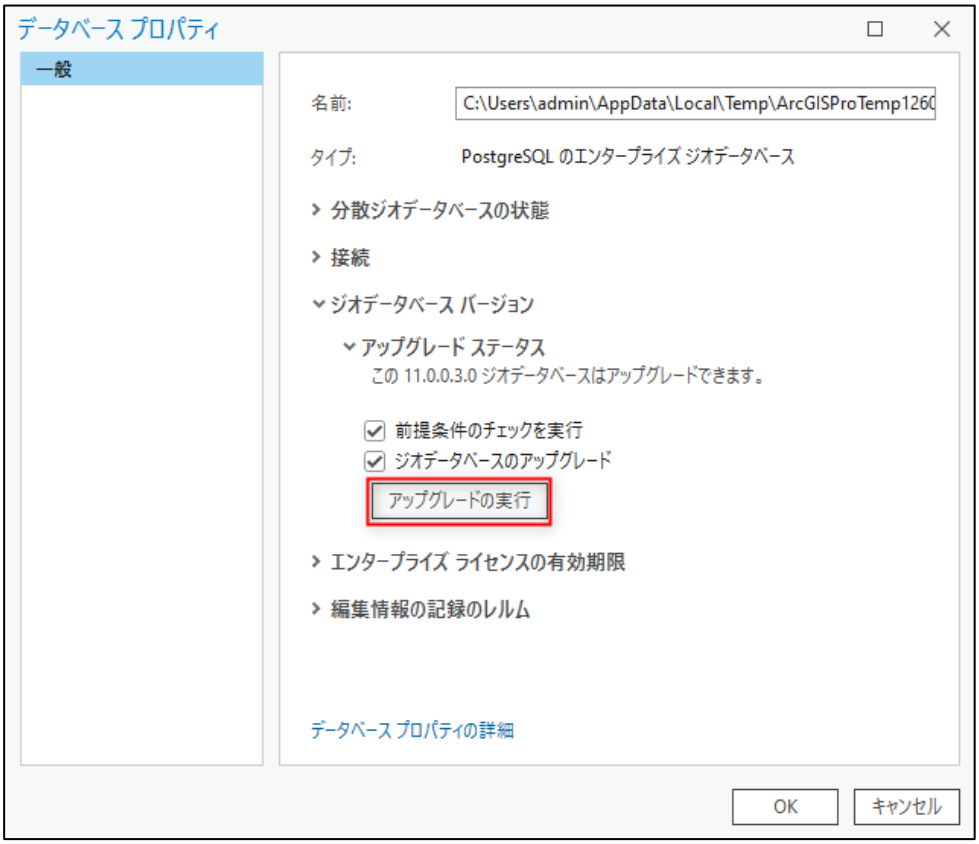
2. 画面左下の [設定] をクリックします（既に ArcGIS Pro を使用中の場合は、[プロジェクト] タブをクリックします）。[バージョン情報] を選択し、ArcGIS Pro のバージョンを確認します。この製品情報に表記された ArcGIS Pro のバージョンに対応するジオデータベースのバージョンにアップグレードすることができます。本ガイドでは ArcGIS Pro 3.1 を使用します。




3. エンタープライズ ジオデータベースのアップグレードが必要であるかどうか確認します。任意のプロジェクトを開き、[カタログ] ウィンドウの [データベース] を展開して、ジオデータベースの管理者として接続します。ジオデータベース管理者の接続ファイルがない場合は、[カタログ] ウィンドウの [データベース] を右クリックし、[新しいデータベース コネクション] をクリックします。

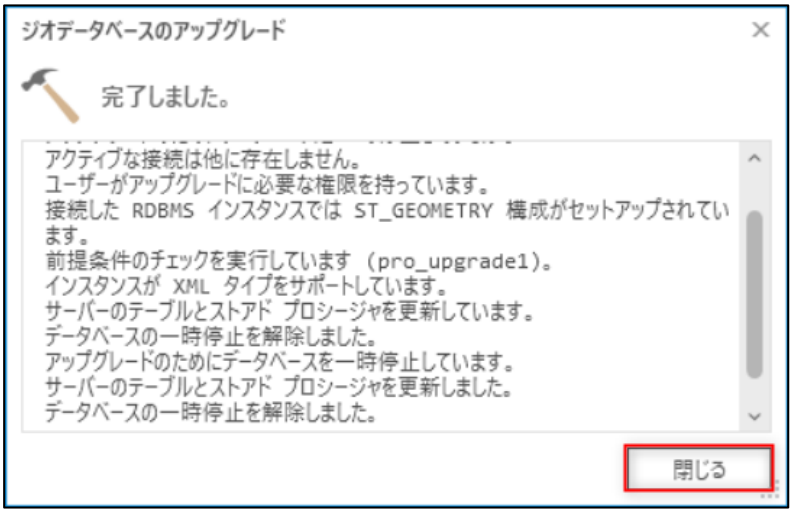


4. [データベース コネクション] ダイアログボックスが表示されます。
   [データベース プラットフォーム] に「PostgreSQL」を選択し、[インスタンス] に DBMS サーバーのホスト名（または IP アドレス）を入力します。[認証タイプ] に「データベース認証」を選択します。ここではジオデータベースのアップグレードを行うため、[ユーザー名] に sde を入力し、[パスワード] に sde ユーザーのパスワードを入力します。[OK] をクリックします。
5. [データベース] 下に作成された接続ファイルを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
6. [データベース プロパティ] の [アップグレード ステータス] で [アップグレードの実行] ボタンが有効になっていることを確認します。有効な場合は、下記の ArcGIS ヘルプに記載されている内容に従って準備を完了し、[アップグレードの実行] ボタンをクリックします。

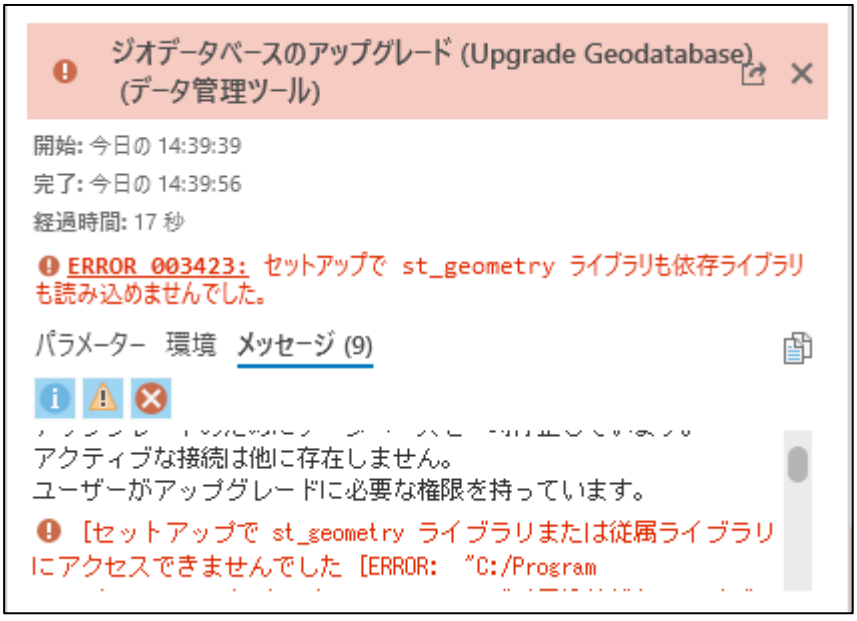



- PostgreSQL のジオデータベースのアップグレード
  http://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/geodatabases/manage-postgresql/upgrade-geodatabase-postgresql.htm
  ※ArcGIS Pro のバージョンによっては [アップグレードの実行] ボタンがグレーアウトして無効な場合があります。[アップグレードの実行] ボタンが無効となっている場合は、ジオデータベースのアップグレードは必要ありません。

7. ジオデータベースのアップグレードが完了したことを確認し、[閉じる] をクリックします。



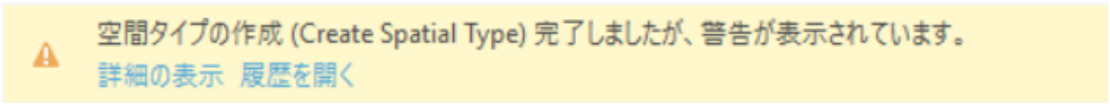

※以下のようなエラーメッセージが表示され、アップグレードに失敗する場合、配置済みの ST_Geometry ライブラリに互換性がない可能性があります。このエラーが発生した場合は、「ST_Geometry ライブラリのアップグレード」章の内容を進めて頂き、再度アップグレードを実行してください。



## ST_Geometry ライブラリのアップグレード

SQL を使用してジオメトリにアクセスを行う場合は、ArcGIS クライアントのバージョンアップやアップデート後に ST_Geometry ライブラリのアップグレードが必要となる場合があります。

1. PostgreSQL が存在するサーバー上にある既存の ST_Geometry ライブラリをバックアップするか、名前を変更します。
2. ArcGIS Pro の Esri 空間タイプのライブラリを、My Esri よりダウンロードし、ご使用の PostgreSQL のバージョンに合った st_geometry.dll をコピーします。
3. 新しい st_geometry.dll を DBMS サーバーの PostgreSQL の lib フォルダー（例 [C:¥Program Files¥PostgreSQL¥14¥lib]）に貼りつけます。
4. [解析] タブの [ツール] をクリックし、[ジオプロセシング] ウィンドウを表示します。[ツールボックス] タブ → [データ管理ツール] → [ワークスペース] → [空間タイプの作成 (Create Spatial Type)] ジオプロセシング ツールを開きます。
5. [入力データベース接続] にジオデータベースのアップグレードで使用した sde ユーザーの接続ファイルを指定します。また [SDE ユーザー パスワード] に sde ユーザーのパスワードを指定します。[実行] をクリックします。
6. 空間タイプの作成が完了したことを確認しウィンドウを閉じます。[空間タイプの作成 (Create Spatial Type)] ジオプロセシング ツールは、ジオデータベースを含まないデータベースに ST_Geometry SQL タイプ、サブタイプ、関数を追加する際にも使用されます。既存のジオデータベースの ST_Geometry をアップグレードするためにジオプロセシング ツールを実行した場合、以下のようにジオデータベース インスタンスが存在しているという警告が表示されますが、問題があるわけではありません。



# FAQ

## エンタープライズ ジオデータベースの作成に必要な製品（ライセンス）は何ですか？

エンタープライズ ジオデータベースの構築には、ArcGIS Enterprise または ArcGIS GIS Server Basic のライセンスが必要です。
また、構築する際に必要なクライアント製品として、以下のいずれかの製品が必要です。

- ArcGIS Desktop Standard / ArcGIS Desktop Advanced
- ArcGIS Enterprise Standard (ArcGIS GIS Server Standard)/
- ArcGIS Enterprise Advanced (ArcGIS GIS Server Advanced)

詳細は、下記のページの FAQ をご参照ください。
ジオデータベース - FAQ (https://www.esrij.com/products/geodatabase/faq/)

- マルチユーザー ジオデータベースの構築に必要なライセンスは何ですか？
- ArcGIS 10.1 以降でマルチユーザー (ArcSDE) ジオデータベースを使用するのに必要な製品は何ですか？

## ArcGIS GIS Server Basic で使用可能な機能はなんですか？

ArcGIS GIS Server Basic をお持ちの場合、以下の機能を使用できます。

- エンタープライズ ジオデータベースの構築※、管理

※構築に必要なクライアント製品は「エンタープライズ ジオデータベースの作成に必要な製品（ライセンス）は何ですか？」をご参照ください。

- 以下のサービスの公開
  - フィーチャ サービス（参照専用）
  - ジオデータ サービス
  - ジオメトリ サービス

詳細は、下記のページの ArcGIS Enterprise 機能比較表をご参照ください。
https://www.esrij.com/products/arcgis-enterprise/documents/

## ArcGIS Pro で作成 / アップグレードされたエンタープライズ ジオデータベースと対応する ArcGIS クライアントのバージョンは何ですか？

エンタープライズ ジオデータベースのバージョンは、データベース プロパティの「アップグレード ス

テータス」で確認することができます。例えば、ArcGIS Pro 3.1 で作成したエンタープライズ ジオデータベースのバージョンは、11.1.0.3.1 (11.1 が ArcGIS クライアント のバージョン、3.1 が Pro のバージョン) です。

ArcGIS Pro を使用して構築した（またはアップグレードされた）エンタープライズ ジオデータベースのバージョンは以下のヘルプをご参照ください。

ジオデータベースバージョン

https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/latest/help/data/geodatabases/overview/client-geodatabase-compatibility.htm#ESRI_SECTION1_05EA78DC472742758C97E13E342DDA95

また、ArcGIS クライアント製品とエンタープライズ ジオデータベースのバージョンの互換性は下記のページで確認できます。

ArcGIS Pro

https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/latest/help/data/geodatabases/overview/client-geodatabase-compatibility.htmh

## エンタープライズ ジオデータベースの作成に失敗します。

[エンタープライズ ジオデータベースの作成] ツールを使用したエンタープライズ ジオデータベースの作成時に発生しうる問題と確認ポイントを以下に挙げます。

| 問題 | 確認ポイント |
|---|---|
| **DBMS サーバーへ接続できない** | ● DBMS クライアントが正しく構成されているか確認してください。<br>● ArcGIS クライアントと DBMS サーバーが異なるマシンにインストールされている場合は、ファイアウォールの設定等を確認しクライアント/サーバー間の接続が適切に行えるか確認してください。<br>● ツールの実行画面の入力内容に誤りがないか確認してください。 |
| **ジオデータベース管理者の作成に失敗する** | ● ジオデータベース管理者に設定するパスワードがポリシーを満たしているか確認してください。 |
| **ジオデータベースの構築に失敗する** | ● エンタープライズ ジオデータベースを構築する PostgreSQL のバージョンに合った適切な st_geometry ライブラリが配置されているか確認してください。<br>● DBMS サーバーに適切な Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージがインストールされているか確認してください。 |

# 参考資料

エンタープライズ ジオデータベースの環境構築および運用・管理には、使用する DBMS および ArcGIS に関する様々な情報を理解する必要があります。以下には PostgreSQL にエンタープライズ ジオデータベースを構築し、運用するにあたって必要となる ArcGIS ヘルプの情報を記載します。PostgreSQL のユーザーガイドと合わせてご参照ください。

- ArcGIS ヘルプ

  ArcGIS から PostgreSQL への接続

  https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/databases/connect-postgresql.htm

  PostgreSQL のジオデータベース

  https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/geodatabases/manage-postgresql/overview-geodatabases-postgresql.htm

# ArcGIS
# Geodatabase in PostgreSQL
# セットアップガイド

2023 年 4 月 7 日

ESRI ジャパン株式会社

https://www.esrij.com/

Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず

本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。

